

FOR IMMEDIATE RELEASE

配信日:2022年11月2日

プレス担当:

山本一穂 (KazuhoYamamoto@japansociety.org)

アリソン・ロッドマン (ARodman@japansociety.org)

ジャパン・ソサエティーと国際文化会館の 戦略的パートナーシップの締結について



(左から): 近藤正見ジェームス (国際文化会館理事長)、ジョシュア・ウォーカー氏 (ジャパン・ソサエティー理事長)

ニューヨーク市に拠点を置くジャパン・ソサエティー (以下、JS) と、東京に拠点を置く公益財団法人国際文化会館 (以下、国際文化会館) は、2022年11月2日 (火) に戦略的パートナーシップを締結しました。

今年、創立115周年を迎えたJSと70周年を迎えた国際文化会館では、これまでの歴史を振り返り、未来を形作る取り組みを推進しております。その一環として包括的な連携を強化することにいたしました。

国際文化会館の創設に関わった ジョン・D・ロックフェラー三世は長年 JS 理事長を務めていました。

また、国際文化会館と JS の建物の設計は、いずれも日本モダニズム建築の巨匠のひとり吉村順三が携わりました。国際文化会館の本館は「登録有形文化財」に、JS のビルは「ニューヨーク市歴史的保存建築」に指定されています。このように縁の深い両団体が連携し、すぐれた建物・空間が可能とする対話・交流・創造の可能性を探求し、その価値を社会に発信していきます。本締結にあたり、国際文化会館理事長および JS 会長は以下の通り述べました：

公益財団法人国際文化会館理事長 近藤正晃ジェームス

「国際秩序が不安定化する中で、日米関係の重要性はますます高まっています。そうした中で、創設時から縁が深い JS と戦略的パートナーシップを締結し、包括的な連携を強化することには大きな歴史的な意義があります。東京とニューヨークにそれぞれ素晴らしい拠点を持つ組織として、双方の活動の幅とインパクトが広がり深まるように協力していきたいと願います。」

ジャパン・ソサエティ理事長 ジョシュア・ウォーカー

「このたび、国際文化会館とパートナーシップを結び、今後より深く連携できることに、心から喜びを感じます。JS と国際文化会館は、その設立や勃興期において、戦後の日米関係構築に尽力したロックフェラー三世の意志、そして組織としてのミッションの多くを共有しています。両者の社屋が、建築家吉村順三の設計であることは、単なる偶然ではありません。文化・金融・世界の外交の拠点であるニューヨークと東京から、国際的視点で、日米関係を最善の形で体現できることを願っています。」

詳細は[こちら](#)をご確認ください。

公益財団法人 国際文化会館について：

日本と世界の人々間の文化交流と知的協力を通じて国際相互理解の増進をはかることを目的に、1952 年にロックフェラー財団をはじめとする内外の諸団体や個人からの支援により設立された非営利の民間団体です。創立 70 周年を機に「多様な世界との知的対話、政策研究、文化交流を促進し、自由で、開かれた、持続可能未来をつくることに貢献する」という新たな使命のもと、アジア・太平洋地域を代表する知の交流の拠点となり、グローバルでよい高いインパクトを発することを目指してまいります。事業活動は主として、①国際関係・地域研究・地政学、②社会システム・ガバナンス・イノベーション、③文明論・哲学、④アート・デザインの 4 つの領域からなるプログラム部門

と、その事業を支える国際交流の場としての施設の維持運営にあたる業務部門とからなっています。
詳細は www.i-house.or.jp/index.html をご覧ください。

JS について：

JS は、日本の芸術、文化、ビジネス、社会をニューヨーク及び世界の人々をつなぐ全米随一の規模を誇る日米交流団体です。JS では、「きずな（絆）」の考えのもとに、人々を結びつける深いつながりを築くことを大切にしています。拠点とするニューヨーク市でのつながりを一層強化することに加え、米国内外での新たな架け橋の構築も行いながら、日本のストーリーを世界に発信することを目指しています。文化芸術、ビジネス及び政策、そして教育分野において、100 年以上に亘る日米交流を通じ常に新風をもたらしながら、パイオニアとしての確固たる地位を確立してまいりました。今後も、日米両国を結びつける重要な対話、革新的な次世代クリエイターの支援、日米相互理解の促進、日本の多様性を深く理解しようと願う世界の人々にとって信頼できる案内役となることを目指し、これまで以上に邁進してまいります。JS のビルは、建築家・吉村順三の設計により 1971 年に開館し、ニューヨーク市歴史的保存建築に指定されています。この地から絆を紡ぎ続けることにより、物理的な制限を超えたインパクトを未来に向け発信していきます。JS の未来は、弊会を支えてくださる多くの皆様から学び、交流し続けていくことで切り開かれていくと考えております。

公式 SNS アカウント：

Facebook：[facebook.com/japansociety](https://www.facebook.com/japansociety)

Instagram：[@japansociety](https://www.instagram.com/japansociety) and #japansociety

Twitter：[@japansociety](https://twitter.com/japansociety)

その他、詳しい情報は弊会ウェブサイト <https://www.japansociety.org> をご参照ください。

###